

教育目標(めざす児童生徒像)	今年度の指導の重点
<p><b>学校教育目標</b> 自ら学び、生き生きと表現する 心豊かな子どもを育てる</p> <p><b>めざす子ども像</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇思いやりのある子</li> <li>◇進んで学び合う子</li> <li>◇思いを伝え合う子</li> </ul>	<p>人と人とのつながりを育てながら</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学力の充実…基礎基本、聞く・考える・伝え合う(学習規律)</li> <li>・生活の充実…あいさつ・きまり・そじく(生活規律)</li> <li>・人権教育の充実…一人ひとりが大切にされる仲間づくり</li> <li>・特別支援教育の充実…個のニーズに応じた支援</li> <li>・家庭・地域との連携の充実</li> </ul>

調査結果について(調査結果において明らかになったこと)	
<p><b>【学力状況調査の結果】</b> 全国(小学校)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○国語A、B、算数Bで県平均と比べると正答率が低い。</li> <li>○算数Aはほぼ県平均と同程度である。</li> <li>○全体的に無解答率が県平均に比べると高い。</li> <li>○漢字を書く。(むだをはぶくようにする)本校96.0%(全国81.0%) ローマ字を書く。(あさって)本校24.0%(全国41.8%) □÷0.8の商の大きさについて正しいものを選らぶ。本校58.0%(全国64.8%) A小学校とB小学校の図書委員が表したグラフを見比べ読みとった事柄として正しくないわけを書く。本校6.1%(全国20.3%)</li> </ul> <p>県(中学校)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○4教科とも正答率は県平均を下回っており、社会と理科について県平均との差が大きい。</li> <li>○社会の岡山県の様子、理科のふりこのきまりについては県平均と同程度である。</li> <li>○各教科観点別にみると、国語の「話す聞く能力」、「社会の「社会的事象についての知識・理解」、数学の「数学的な考え方」、理科の「観察・実験の技能」で正答率が県平均から下回る。</li> <li>○算数の「数量や図形についての技能」「数量や図形についての知識・理解」は比較的県平均との差が少ない。</li> </ul>	<p><b>【学習状況調査結果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○国語や算数の勉強が好きだと回答した児童の割合は県より高い。算数の授業で学習したことが将来社会に出て役に立つと思っている割合も県より高い。</li> <li>○家で学校の宿題をしている児童の割合は県よりやや高いが、家庭学習を平日1時間以上している児童や学校の授業の予習・復習をしている児童の割合が県平均に比べ低い。</li> <li>○平日にテレビを1時間以上見たり、テレビゲームを1時間以上したりする児童の割合は県より高く、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットを1時間以上する児童の割合は県平均を大きく上回る。</li> <li>○学校の授業時間以外で1時間以上勉強している児童の割合は県より低い。</li> <li>○「読書は好きだ」という項目に肯定的な児童が増えているが、平日に30分以上読書をする児童は県より少ない。</li> <li>○あいさつの項目では肯定的な児童の割合はほぼ県と同程度である。</li> </ul>

成果と課題	課題に対応した改善方法
<ul style="list-style-type: none"> <li>○基本的な四則計算や漢字の読み書きについては、県平均同程度かそれ以上である。朝学習算数すいすいタイム・漢字タイムの時間を使い系統的に学年を越えた既習事項の繰り返しプリントを実施している成果と考える。</li> <li>○「家で、自分で計画を立てて勉強をしている」「学校の宿題をしている」と回答した児童の割合が昨年より高くなった。</li> <li>○文章で解答する問題に対して無解答率が高く、自分の考えを書いて表現することが苦手と感じる児童が多い。</li> <li>○場面や相手に応じた言葉遣いで話すことができにくい児童の割合が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○毎日の授業の中で、自分の考えを図や文章で書く活動を取り入れ、授業改善に取り組む。</li> <li>○グループやペア学習を取り入れた学び合いを大切に授業に取り組む。</li> <li>○基礎・基本の定着を図るため、算数すいすいタイム・国語わくわくタイム・漢字タイムを継続する。問題データベースは国語、算数については、すいすい、わくわくタイムに組み込み、社会、理科は授業で活用し、基礎基本の定着に取り組む。</li> <li>○うさかめカード(家庭学習と基本的生活習慣の点検)の提出率100%をめざし、保護者への呼びかけを積極的に行い、家庭学習の習慣の定着を図る。</li> <li>○小中連携で取り組んでいるノーマディアデーを「うさかめカード」の中で取り入れ、テレビ・DVD等の視聴時間やゲーム等の時間が減少するようにする。</li> <li>○低・中学年で親子読書、読書ボランティアによる読み聞かせ、図書館教育の充実により、本好きな子を増やし、読書量が増えるようにする。</li> <li>○自分からあいさつをする、名前を呼ばれたら返事をする、言葉遣いに気を付ける等、場面や相手に応じた話し方ができるように指導していく。</li> </ul>

取組の検証方法及び検証時期	平成28年度津山市達成目標に対する具体的な目標(数値目標等)
<ul style="list-style-type: none"> <li>○朝学習:算数すいすいタイム・国語わくわくタイム・漢字タイムの継続的実施と課題テストによる検証。</li> <li>○岡山県学習到達度確認テストや問題データベースの実施(すいすいタイムやわくわくタイムの問題に組み込む)。</li> <li>○うさかめカードの実施(年6回)と結果の考察。</li> <li>○5・6年生においては県学力状況調査・全国学力状況調査の過去問題や同一問題・類似問題に取り組み、結果を検証する(3学期)。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○3学期に行う算数すいすいタイム・国語わくわくタイムで、平均点が80点以上になるようにする。</li> <li>○漢字ミニテストで90点以上、学期末の漢字50問テストで平均点が80点以上になるようにする。</li> <li>○うさかめカードの提出率が100%になるようにする。</li> <li>○宿題の提出率が100%に近づくようにする。</li> </ul>